

世界自然遺産の島



奄美大島

～ここにしかない生きものを守るために～

日時：令和7年8月23日(土) 10:00～12:00

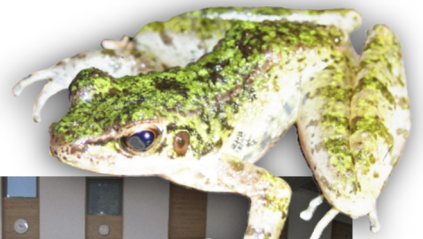
場所：かごしま環境未来館 1階多目的スペース

講師：平城 達哉(奄美市立奄美博物館 学芸員)



2021年に世界自然遺産に登録された奄美大島。

「島」という限られた環境で生き残ってきた生きものは、独自の進化を遂げ、奄美固有の生きものとなりました。その生きものたちの生態について、クイズをしながら楽しく学び、奄美大島で今問題となっている外来種や密猟、ロードキルについてくわしく教えていただきました。自然と共に生きるためには、そこに住む生きもののことを知り、想いやって行動することが大事だと改めて学ばせていただきました。



季節による日周活動の変化

オキナワトグネズミは夏期に昼行性、冬期に夜行性

1～3月 4～6月 7～9月 10～12月

アマミトグネズミ

トクノダマトグネズミ

オキナワトグネズミ

文字：『奄美動物』久高隆雄、2017。オキナワトグネズミは夏期に昼行性、冬期に夜行性を示す。奄美博物館57(2)

○受講者の声

- ・奄美出身でしたが、とても勉強になりました。
- ・奄美の生き物や生態系を知ることができました。
- ・子どもも楽しめる内容で娘もよろこんでいました。
- ・同じ鹿児島県でも全然違う環境やそこにまつわる生活を知ることができました。
- ・奄美に行く機会がありますが、また違った視点で見ることができそうです。